

認知行動看護学研究会

認知行動療法は、数ある心理療法の中でもエビデンスの確立された治療法であり、来年度より診療報酬化されることが大筋で決定しています。

このような流れの中で、看護実践の中でも認知行動療法を取り入れた幅広い援助技術が求められていると考えられます。

うつ病やパニック障害、統合失調症など様々な精神疾患に対して有効性が証明されている認知行動療法を、看護技術として効果的に活用できれば、看護の幅が広がると共に、看護の質の向上にも繋がるのではないのでしょうか？

しかしながら、現存している認知行動療法に関する書籍のほとんどが医師や心理士を対象としており、看護の特殊な勤務状況・患者との関わり方などを配慮したものが少ないのが現状です。

そこで、認知行動療法の専門学会である日本行動療法学会より行動療法士の認定を受け、看護領域において認知行動療法を実践していらした三上勇氣先生を講師としてお招きし、東海・北陸地区近郊の精神病院から参加者を募り、勉強会を開催したいと思います。

今回は、後日開催予定の事例検討会を視野に入れ、より実践的な内容も取り入れてお話しいただく予定です。ご参加をお待ちしております。

題目：統合失調症者への看護実践における 認知行動療法のアセスメントと実践

講師：日本行動療法学会認定行動療法士 三上勇氣先生

福井県立大学看護福祉学部 精神看護学講師
名古屋市精神保健福祉センター 集団認知行動療法講師

日時：2月25日(木) 17:30～19:30

場所：守山荘病院 B棟地下大会議室

〒463-0074 名古屋市守山区町北 11 番 50 号

参加費：会員 2,000 円 非会員 5,000 円

事前申し込みは不要です。

お車でお越しの際は、院内の駐車場をご利用ください。



(社)日本認知行動看護学研究会

幹事 磯部美子(守山荘病院看護部長)
世話人 久保恵子(守山荘病院看護師長)
寺尾裕子(守山荘病院看護師長)
ホームページ <http://www.jacbn.com>
お問い合わせ postmaster@jacbn.com

